

アルビレックス・レーシング・チーム



PRESS RELEASE

2013/10/13

2013 FIA F1世界選手権シリーズ第 15 戦 日本グランプリ

2013 S-FJ チャレンジカップレース

CAR No.33

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

太田 達也
玉三郎アルビ岩本商会ミスト制動屋

CAR No.34

MOTOR FREAK

深村 匠
アルビモーターフリークGIAミストKK-SED

CAR No.35

Beyond

神村 悠太
アルビビヨンド M'sGIA岩本商会KK-S

CAR No.36

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

湊 雅之
アルビRT玉三郎Dream小杉歯科ED

CAR No.37

MAKE WINNER

早坂 祐希
アルビメーカーウィナーGIA

CAR No.58

GIA 専門学校 新潟国際自動車大学校

加藤 泰賀
GIA新潟国際自動車大学校アルビレックスRTワコーズED

10月12日(土)予選 10月13日(日)決勝 1LAP=5.807km 出走：33台

予選結果：太田選手 8位 湊選手 14位 早坂選手 24位

深村選手 26位 神村選手 31位 加藤選手 33位

決勝結果：太田選手 8位 早坂選手 19位 深村選手 22位

神村選手 26位 加藤選手 29位 湊選手リタイヤ

■10月12日(土)予選

天候：晴れ コース：ドライ 気温：24℃ 湿度：47% 路温：30℃

9時30分予選開始。

前日のフリー走行ではトップタイムをマークしていた太田選手だったが、この日はセッティングが決まらず思うようなタイムアップが果たせない。結果、最後までタイムが伸びず、トップから0.8秒差の8番手で予選を終えた。

湊選手はトップから1.5秒差の14位、早坂選手24位、深村選手26位、神村選手31位、加藤選手は33位で予選終了となった。

■10月13日（日）決勝

天候：晴れ コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：38% 路温：39℃

F1日本グランプリの決勝日とあって、普段のレース以上の観衆が見守る中、11時決勝スタート。全33台の出走にも関わらずスタート直後は大きな混乱もなく各コーナーを通過していく。

しかし、高速コーナー・130Rの進入でイン側から前車と並んだ湊選手は、並んで進入した車両が外からイン側を締めるような形で左フロントタイヤと湊選手の右フロントタイヤが接触。コントロール不能になった2台はグラベルへ飛び出し、リタイヤとなった。

その後は太田選手の7位争いを先頭に、各選手ともそれぞれのポジション争いの中で接近戦が展開される。太田選手は途中9番手にポジションを落としたものの、再び8番手に振り返り、そのままフィニッシュ。

早坂選手は18位争い、深村選手は21位争い、神村選手は25位争いで競り合いを演じたものの、わずかに及ばず。加藤選手は29位で目標の完走を果たした。

○太田選手コメント

もっと上を狙っていたのでこの結果は満足できるものではありません。日本一決定戦に向けて、気持ちを切り替えて望みたいです。

○早坂選手コメント

おとしは鈴鹿シリーズにフル参戦していたのでその経験を活かしたかったのですが、いまひとつ波に乗ることができませんでした。もっと技術を磨いて日本一決定戦ではいい成績を残せるように頑張ります。

○深村選手コメント

これだけたくさんの観客の皆さんの前でレースをすることができて楽しかったです。結果は最後まで届きませんでしたが、いい経験を積むことが出来たと思うので、次のレースにつなげていきたいです。

○神村選手コメント

予選、決勝と思うようなタイムが出せず不完全燃焼といったウィークでした。まだまだ速さが足りないなので、これからもっと練習してうまくなりたいです。

○湊選手コメント

予選の順位からもっとポジションを上げれると思っていたのですが、1周目で接触してリタイヤということで、本当に悔しいです。日本一決定戦ではリベンジしたいです。

○加藤選手コメント

一度も練習走行がなかったので、ぶっつけ本番のウィークでしたが、目標の完走が果たせて嬉しいです。ラップタイムを見ても速さが全然足りないなので、もっと練習していきます。

○中村監督コメント

まずはF1日本グランプリのサポートレースというチャンスを頂き、業界関係者、スポンサー様には感謝申し上げます。このタイミングでスーパーFJカテゴリーを行っていた選手には非常に良い勉強の場となったと思います。また、多くの観客に見られながらの走行は今後の彼らの活動にとって非常に良い機会となりました。

太田選手に関してはフリー走行トップタイムでしたが、予選決勝と合わせ込むことが出来ず8位となってしまいました。

湊選手は鈴鹿の走行経験が少ない中、着実に走行前にタイムを上げトップより1.5秒のところまできました。決勝では1周目に他車と接触してリタイヤとなりましたが積極的に走っての結果ですので日本一決定戦へのリベンジとして今後活動します。

早坂選手、深村選手、神村選手に関しては大舞台の走行に緊張した感はありましたが無事完走してくれました。

加藤選手に関しては初めての鈴鹿で、また、学生のうちにF1の舞台を経験できたことは非常に良いモチベーションに繋がったと思います。

総じて、今回は12月に行われる日本一決定戦へのプレリユードということで足りないものがたくさん見えました。日本一決定戦に向けて頑張りますので今後とも応援の程宜しくお願い致します。







PPLUS



Nankai Plus.Co.,LTD.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tknf.com/sds>



Moty's 新潟日報

たわら屋



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ